

# CLEANTECH NEWS

地域の皆様に安心をお届けする

ISO 14001 認証取得  
飯坂グリーンサイト



# クリーンテック通信

2024  
VOL.81  
SUMMER

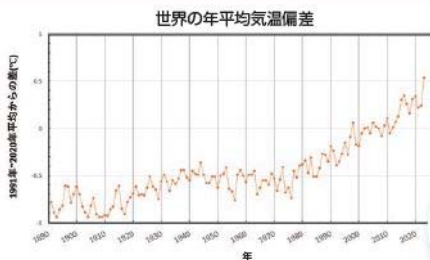
毎年1・4・7・10月発行 株式会社 クリーンテック 発行責任者/反後 太郎 福島市飯坂町中野字赤落27番 TEL 024(541)2811

## 私達と環境問題

私たちが住む地球では、さまざまな環境問題を抱えています。近年、環境問題としてよく耳にする「地球温暖化」と「気候変動」とは何でしょうか。そして、私達には何ができるのでしょうか？



### 地球温暖化の現状



「地球温暖化」とは、人間の活動が活発になり、大気中に含まれるCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスが増えることで地球全体の平均気温が上昇する現象のことです。森林伐採に

よってCO<sub>2</sub>の吸収源である森林が減少していることも原因の一つとされています。

2023年の平均気温の基準値(1991～2020年の30年平均値)偏差は、0.54℃となっており、1891年以降で最も高い値となっております。

### 地球温暖化と気候変動はなにがちがうの？

「地球温暖化」は気温や海水温が上昇する現象を指していますが、「気候変動」は地球温暖化以外にも、雨の降り方なども含めた広域な意味での「気候」変化を指しています。

### 気候変動ってなんだろう??

気候変動とは、気温および気象パターンの長期的な変化を指します。

- ◆原因：地球全体の気温が上昇する地球温暖化が影響しています。
- ◆自然への影響：気候変動が起きると世界各地で大規模な山火事や洪水、干ばつ、猛暑や豪雨等の気象災害が発生し、被害が甚大化します。
- ◆生活への影響：農産物の品質低下や水産物の漁場が変化している等、人々の生活にも影響が出ています。



### 温室効果ガスの増加

電気やガス・ガソリンなどのエネルギーの使用

### 気候の変動

気温上昇・海面上昇・降雨パターンの変化など

### 気候変動による影響

生活・社会・経済・自然環境などへの影響

## ～気候変動に対して私たちができる2つの対策～

### ●緩和策● ～原因を少なくする～

「緩和策」とは、地球温暖化がこれ以上進まないように温室効果ガスを減らす努力のことです。例えば、エネルギー消費を減らす節電、太陽光発電や風力発電など温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの利用などがあげられます。



### ●適応策● ～影響に備える～

「適応策」とは、影響に備えて被害や災害から人々の暮らしや街、自然を守ることです。例えば、本来熱帯地域に生息するはずの虫が日本に飛来しているため、虫よけスプレーで虫刺されに注意したり、干ばつ等による水不足から、今まで以上に水を大切に利用する必要があります。



私たちにできることを少しずつ始めてみましょう。

# ISO活動記録

当社は環境マネジメントシステムに関する国際規格 (ISO14001) の認証を受けています。  
 この規格では組織が順守義務を満たし、環境負荷を低減するために、業務に必要な力量を定義し、担当者に持たせることが要求されています。  
 従業員教育の一環として、公共関与型産業廃棄物処理施設「工コ

グリーンとちぎ」の見学を行いました。この施設は最終処分場の埋立地全体を屋根で覆った「クローズド型」の構造になっています。屋根設置の技術的な難しさや維持管理コストの問題から全国でも設置例が少ない構造です。初めて見る装置もあり、知識を深める良い機会となりました。今後の業務に活かしてより良い施設運営に努めていきたいと思ひます。



↑飯坂クリーンサイト (従来のオープン型)



↑エコグリーンとちぎ (クローズド型)



埋立地へ散水している様子→

←埋立地  
自然光を取り込む形で屋根を設置

# 安全・安心のために

2023年12月6日、福島市廃棄物対策課が来場し、廃棄物(燃え殻)を採取されました。検査結果は以下の通り、全て基準値以内でした。



▲福島市による燃え殻採取

■燃え殻 (採取日 2023年12月6日)

分析対象項目 (抜粋)	分析の結果 (mg/L)	基準値 (mg/L)
カドミウム	検出せず	0.09以下
シアン化合物	検出せず	1.0以下
鉛	検出せず	0.3以下
六価クロム化合物	検出せず	1.5以下
砒素	検出せず	0.3以下
総水銀	検出せず	0.005以下
アルキル水銀化合物	検出せず	不検出
PCB	検出せず	0.003以下

※福島市との環境保全協定に基づき、当社では、マニフェスト(産業廃棄物管理票)の確認や水質データの確認調査を定期的に受けております。

## 各行政機関による立入り (2024年3月~2024年5月)

月日	行政機関	目的
2024年4月12日(金)	福島市廃棄物対策課	立入調査【マニフェスト等書類確認】
2024年5月22日(水)	福島市廃棄物対策課	立入調査【第一期・第二期上下地下水サンプリング、廃棄物サンプリング】

法規定及び福島市との「環境保全協定書」に基づき、放流水の水質を定期的に測定しています。毎月2回測定(測定は外部専門会社へ委託)している以下の項目は、直近の3ヵ月(3月~5月)は法及び協定書いずれに対しても基準値以内でした。

※3ヵ月で最も新しいデータ (2024年5月8日採水)

	放流水(水処理後)		
	第1期測定値	第2期測定値	法規定基準値 (※1)
BOD	1 mg/L未満	1 mg/L未満	60 mg/L
COD	5 mg/L	5 mg/L	—
SS	1 mg/L未満	1 mg/L	60 mg/L
大腸菌群数	不検出	1 個/cmf	3000 個/cmf

BOD⇒水中の有機物が好気性微生物により分解される時に消費される酸素の量、少数値が良い

COD⇒水中の有機物等を酸化する際に消費される酸化剤の量を酸素の量に換算したもの、少数値が良い

SS ⇒水中に浮いている直径2mm以下の粒子状物質の量、少数値が良い

※1 一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令

## 放射能管理状況 (2024年3月~2024年5月の3ヵ月実績)

※場内、放流水、地下水、搬入廃棄物の放射線量等測定結果

測定対象	測定項目	測定頻度	測定結果(カッコ内は平均値)
場内	埋立場所	放射線量	毎日1回 0.03~0.12 μSv/h (0.07)
	処分場周辺	放射線量	週1回 0.03~0.16 μSv/h (0.07)
放流水	放射性物質	月2回	不検出
地下水	放射性物質	月1回	不検出
搬入廃棄物	放射線量	全車両	0.038~0.355 μSv/h (0.12)



## ニューフェイス 社員紹介 NEW FACE

営業部 営業管理G 岡田 希美

昨年4月に入社いたしました岡田希美と申します。営業部営業管理Gに所属し、契約書の作成などを行っています。クリーンテックはたくさんの方の自然に囲まれて、元気いっぱいのお猿さんや搬入路を彩る花々、働く社員の笑顔がとても素敵です。入社して1年が経ちましたがまだまだ知らないことがたくさ

んあり、日々勉強の毎日です。お客様から、ここに頼んでよかったと思われるような丁寧な仕事を心掛けていきたいと思ひます。これからたくさんの方の事を学び、成長していきたいです。よろしくお願ひいたします。



お問い合わせ  
相談窓口

〒960-0261 福島市飯坂町中野字赤落27番  
 TEL 024-541-2811 FAX 024-541-2510  
 ぜひご意見・ご感想をお寄せください。 mail : tech-info@clean.ne.jp  
 また、ホームページも御覧下さい。 URL : http://www.clean.ne.jp

許可品目

燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん、政令第2条第13号に掲げるもの(これらのうち、石綿含有産業廃棄物、水銀含有ばいじん等、水銀使用製品産業廃棄物及び自動車等破砕物を含み、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)以上13種類